

平成23年度試験研究体系図

農業技術センター畜産技術所

重 : 重点研究課題

新 : 新規研究課題

㊦ : 平成23年度要試験研究問題として提案されたものを実施又は実施中であるもの。

★ : 平成22年度までに要試験研究問題として提案されたものを実施中であるもの。

■県民へ新鮮で安全な農畜産物を提供するための技術開発

かながわの優位性を発揮する特産品や技術の開発

新規性・独自性に着目した かながわ特産品の開発

1 遺伝解析手法を活用した新たなかながわ特産品の作出

- (1) ブタの皮下脂肪厚を制御する遺伝子の解明 (H19～23) ★

品質向上と高付加価値化のための技術開発

1 多様なニーズを踏まえた農畜産物を提供するための調査研究

- 重**(1) マーケティング調査手法を用いた県内消費者の畜産物ニーズに関する研究 (H22～24)

- 新**(2) 消費者視点の畜産物評価に関する研究 (H23～27)

- 新**(3) 25～35歳の牛肉に対する嗜好、購買行動に関する実態調査 (H23)

2 県産農畜産物の品質特性・加工特性の解明と高付加価値化に関する研究

- 重新**(1) 高品質牛肉の生産技術の開発 (H23～25) ㊦

- 重新**(2) 高品質豚肉生産のための要素解析と品質評価への応用 (H23～27) ㊦

- (3) 地域銘柄鶏の作出を目指した鶏卵・鶏肉の高付加価値化技術の開発 (H22～24) ★ ㊦

- (4) 系統豚を利用した高品質豚肉生産技術の確立 (H15～27) ★

3 家畜の快適性・安全性に配慮した飼養技術の確立

- (1) 快適性に配慮した豚の飼養技術の確立 (H20～23) ★

- (2) 快適性に配慮した鶏の飼養技術の確立 (H17～23) ★

地産地消を推進する農畜産物の安定生産技術の開発

新鮮で安全な農畜産物を安定して提供するための技術開発

1 地産地消を推進する安定生産技術の確立

- (1) 牛の雌雄産み分け技術の確立 (H10～23)

- 重**(2) 生体内吸引卵子と性選別精液を用いた効率的な体外受精卵生産技術の開発 (H22～24) ★

- 新**(3) 受胎率向上に向けた胚移植技術の開発 (H23～27)

- 重**(4) 受精卵移植産業の形成を目指した種豚生産・導入システムの構築 (H22～24)

- (5) 機能性サプリメントを活用した乳用牛の繁殖性改善技術の開発 (H21～23) ★

- (6) 採卵鶏の性能比較調査 (H22～24) ★

■環境と調和した農畜産業を推進するための技術開発

環境にやさしい畜産経営技術の開発

家畜排せつ物処理における環境負荷低減技術の確立

- 1 家畜排せつ物処理における簡易・低コスト化技術の開発
(1) 簡易で低コストな家畜排せつ物処理技術の開発 (H22～23)

臭気発生の少ない都市型畜産経営技術の開発

- 1 臭気の発生抑制・脱臭技術の開発

新(1) 有用微生物による臭気抑制技術の開発 (H23～25) ㉓

- 2 畜産環境改善技術の開発

重新(1) 都市型畜産経営における畜舎環境改善技術の検討 (H23～25)

(2) 地域環境と調和した畜舎環境の検討 (H18～23) ★

■資源循環型社会・低炭素社会に貢献するための技術開発

省エネルギー生産技術の開発

施設園芸や畜舎管理における斬新な環境制御技術や

再生可能エネルギー利用技術の開発

- 1 再生可能なエネルギーを活用した畜産経営の確立

(1) 資源の回収及び有効活用技術の開発 (H12～24) ★

新(2) 木質粉体を利用した家畜ふんのバイオマス燃料化に関する研究
(H23～24)

地域資源の循環と有効利用を促進する技術の開発

有機資源の高付加価値化技術の開発

- 1 低塩類堆肥や機能性堆肥の生産・利用技術の確立

重(1) 高品質堆肥生産技術の開発 (H17～23)

- 2 畜産経営における肥料成分資源の回収と利用技術の確立

重(1) 畜舎汚水からの資源回収技術の開発 (H22～25) ★㉓

地域内の肥料や飼料資源を有効に使用するための技術の確立

- 1 食品残さ等の地域資源を活用した飼養技術の確立

(1) 乳用後継牛の効率的育成技術の開発 (H18～26)

(2) 食品残さ利用による肉用牛の低コスト生産技術の開発 (H18～23) ★

(3) 食品残さの鶏への飼料化技術の確立 (H19～25) ★

(4) 採卵鶏への飼料用粳米の給与技術の開発 (H22～23)

- 2 未利用農地等における飼料作物栽培技術の確立

(1) 関東南部におけるトウモロコシ二期作に適した品種の組み合わせ方法

の検討 (H21～23) ★

(2) 飼料作物奨励品種選定試験 (H21～23)

新(3) 高水分原料のサイレージ調製技術の開発 (H23～26)

新(4) 多様な地域の飼料生産基盤を最大限活用できる飼料作物品種の育成 (H23～25)